

STプロジェクト White Paper(ドラフト V 7. 1) の検討
(まとめに向けて)

第6回 国連C E F A C T観光部会
2022年10月20日 14時～17時

1. 持続可能な観光のためのビジネス基準のページ構成

1. はじめに
2. 目的と範囲
3. 持続可能な観光のための関連ビジネス基準
 - 3.1 GSTC
 - 3.2 ISO 21401:2018規格
 - 3.3 ISO / TC 228
 - 3.4 持続可能な観光に関する国連/CEFACTのグリーンペーパー
4. 国連/CEFACTの今後の方向性の提案
 - 4.1 食品/レストラン
 - 4.2 アコモデーション(宿泊施設)
 - 4.3 運輸
 - 4.4 デスティネーション(行先)
 - 4.5 ショッピング
 - 4.6 エンターテイメント
 - 4.7 ツアー エイジェンシー
 - 4.8 地方公共団体
 - 4.9 体験プログラム
 - 4.10 旅行者

5. レーティングシステム

6. フューチャーの機会とリスク

6.1 Centralized Unique ID Challenges

6.2 Multi-Layer Packaging Travel Product Challenges

6.3 Centralized Data Storage

6.4 Exposure of Detailed Sustainability Information

6.5 Unified Chapter and Verse System

6.6 Supply Chain Challenges

参照

ウッド、M.E.(2017)。有限の地球上での持続可能な観光:環境、ビジネス、政策ソリューション。ニューヨーク州ラウトレッジ。

ウィーバー、D.とロートン、L.(2002)。観光管理。第2版ジョンワイリー&サンズ、オーストラリア。

ウィーバー、D.(2006)。持続可能な観光。テイラー&フランシス。

サリーゴッドフリー(2008)[software.gsfc.nasa.gov/docs/What%20is%20CMMI.ppt] CMMIとは何ですか?NASAのプレゼンテーション。 2008年12月8日閲覧。

2. 持続可能な観光を可能にするビジネス基準作成の流れ

1. 貧困撲滅
2. 飢餓の撲滅と食糧の安全確保
3. 健康な生活、福祉の推進
4. 公平な教育機会
5. ジェンダー平等
6. 水、衛生へのアクセス
7. 持続可能で近代的なエネルギー
8. 雇用、経済成長
9. インフラの充実、産業化の促進、イノベーションの拡大
10. 国家間の不平等の是正
11. 持続可能な都市、居住地の促進
12. 持続可能な消費と生産
13. 気候変動に対する対策
14. 海洋、海洋資源の確保
15. 陸上生態系、森林資源の確保、砂漠化への対処
16. 平和で公正な社会の構築
17. SDG推進に向けた国際的連帯の活性化

ターゲット：169
(指標：244)

現在、対象となる
ビジネス基準数は
179項目ある。

SDGs達成の取組

持続可能な観光を実現する
ためのビジネス基準を生成

ビジネス基準達成を目指した行動プ
ランを観光地域の情勢に合わせて
作成し観光事業者全てが取組む

SDGs取組成果は達成度評価
手法で持続化の現状を確認する

3. UNSDGsの持続可能な旅行・観光分野の行動指針について

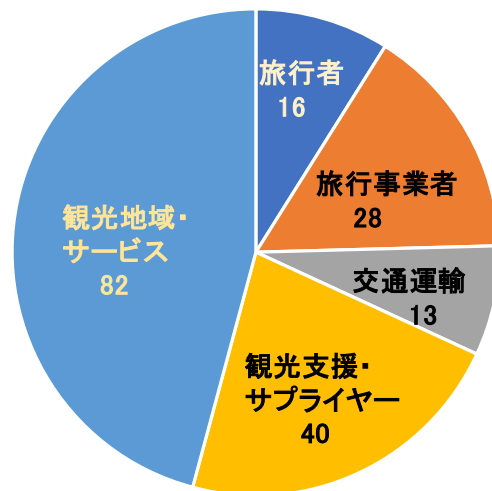
観光5分野がビジネス基準の取組は目標を分類を4区分に振分けて行動するための考え方（1）

S T取組対象を4区分に分類・
整理して取組む_STEP-2-1

持続可能な観光実現のための
ガイドラインを生成する
_STEP-1

持続可能な旅行・観光が取組むべき目標・ターゲットを抽出してガイドライン(ビジネス基準)を生成する。

取組の分5野が取組むべき
ビジネスガイドラインの割合

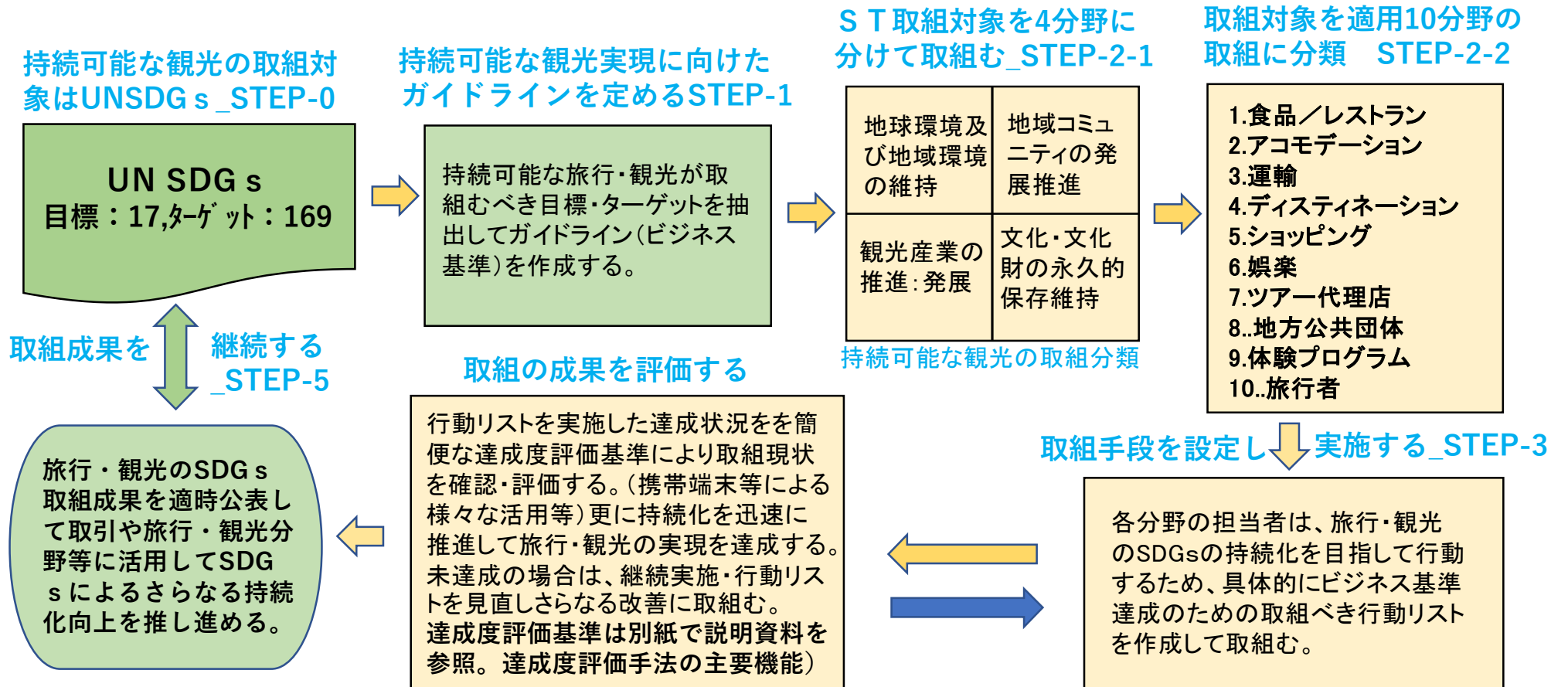


円グラフ内の数字はビジネス
基準179項目の内訳を示す

地球環境及び地域 環境の維持	地域コミュニティの 発展推進
観光産業の推進と 発展	文化・文化財の 永久的保存維持

持続可能な観光の取組分類

3-1. UNSDGsの持続可能を目指す旅行・観光分野取組の流れ



4. STプロジェクト ホワイトペーパーのレビューでの検討資料について

STプロジェクトがSDGsの目標・ターゲットから生成したビジネス基準の適応が持続可能な取組のあり方を検証のために以下の関連資料等を参照した。

1. **UNWTO 観光と持続可能な開発目標 – 2030年への道程 重要事項**
(環境と持続可能な開発目標<SDGs>の関係：公共政策と企業の社会的責任<CSR>活動 等)
2. **欧州連合 「Transition Pathway for Tourism」 (観光の移行経路)**
(レポートの目的は、グリーンとデジタルの移行を加速し、観光エコシステムの回復力を向上させるために必要な措置と成果を説明することです。本文より引用)
3. **観光関係機関の取組講演から**
第1回観光庁セミナーの講演記録から、ハワイ観光局、カナダ観光局の担当者からは新しい観光の取組方としてKPI (Key Performans Indicator)を官民一体での実施が大切であると述べている。更に訪問者満足度、住民の満足度、取組のSDGs, KPIの可視化等も必要であると提唱している。

4-1. COVID-19パンデミックの観光持続化関連の景況感指標

資料参照 European Commission Transition Pathway for Tourism

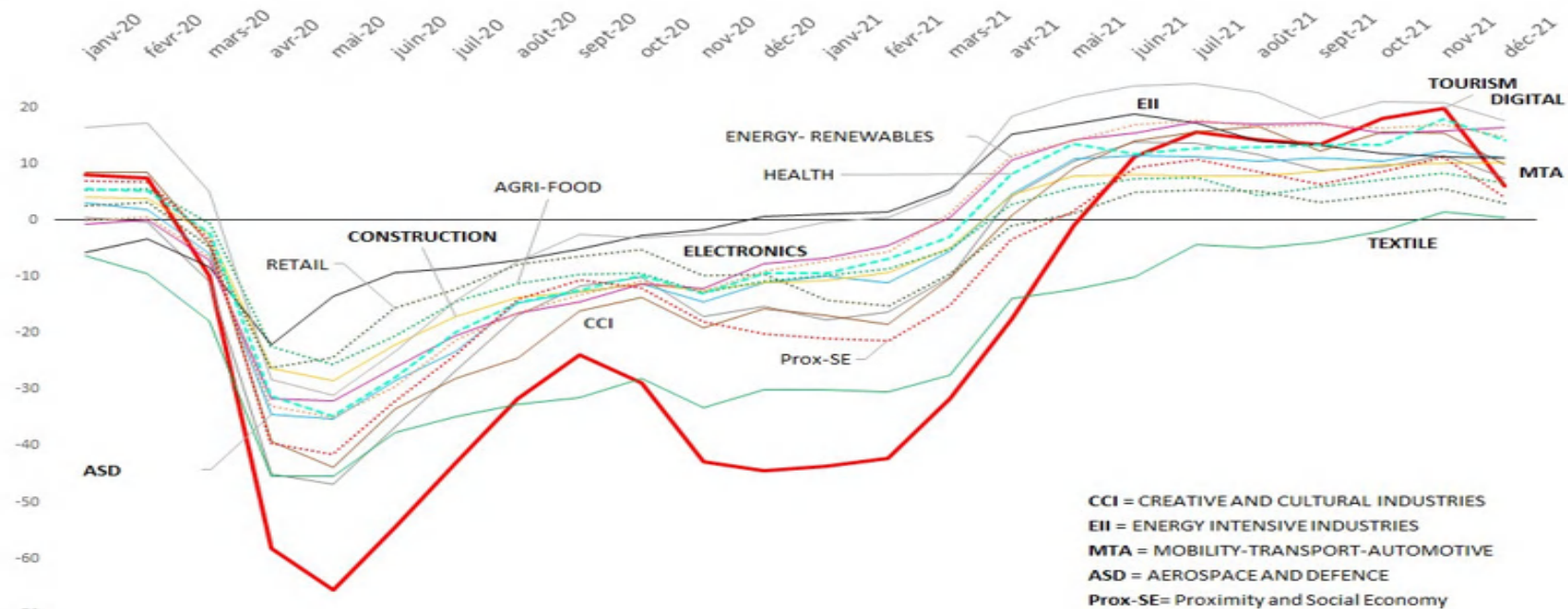


図 1: 産業生態系の景況感指標 - 赤い線でマークされた観光(DG GROW によって計算。A1 ビジネスと消費者の共同調和プログラムによるデータに基づく)

5. UNSDGsの持続可能な旅行・観光分野での取組の課題

1. 持続可能な観光へのガイドライン小効果的に実施するために、重要事項などのWeightingをする必要がある。
STプロジェクトはSDGsからガイドラインを生成したが、観光事業者・旅行者が観光持続化のためにそれぞれのガイドラインにウエイトをかけた重点的な取組みが必要と考えている。一例として旅行者のディスティネーション選択では、自然(41%)、文化(42%)と言った調査データから顧客の要望を満たしつつ持続可能な観光を実現するためには関連するビジネスガイドラインのウエイト付が必要と考えている。特に観光地域の自然と地域の社会的な持続化可能施策など地域社会をくくりとしたビジネスガイドライン実施体制が必要と考えている。
2. 我々はCOVIT-19パンデミックで疲弊する観光事業が受けた影響を目の辺りにした。SDGsの取組に加えて社会・地域の持続化の取組、気候変動対策等も欠かせない社会的な課題であり持続可能な観光取組のあり方について。
3. 持続可能な観光のためのビジネス基準に対する事業者の取組と ISO 2401:2018規格、ISO/TC228)規格の整合性を図る。
4. 持続可能な観光インフラとして重要な施策に必要とする全ての旅行者・事業者がアクセスできる情報ネットワーク環境が必要。汎ゆる場面で関連する観光・旅行情報の活用を可能にする必要がある。この達成にはEPs TAIによる電子取引サービスの具体化に向けて観光サービス全体をトータルに支援するDX全般の取り組みにより連携したいと考えている。(今後の検討)

表1：環境と持続可能な開発目標 (SDGs) の関係：公共政策と企業の社会的責任 (CSR) 活動

公共政策		企業と CSR 活動
<p>目標1 – あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ</p> <p>観光は、現地および地域社会における雇用の創出を通じて収入を提供します。これは国家の貧困削減戦略および起業家精神と結び付けることができます。高い技術を必要としない現地採用は、弱い立場の人々、特に若者や女性に力を与えます。</p>		<p>現行のスタッフ研修；教育のためのパートナーシップ；多様性の管理；補完的利益；教育のための寄付、貧困と人権；責任ある投資と現地採用；現地購入とフェアトレード</p>
<p>目標2 – 飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する</p> <p>観光は、ホテル向けの生産供給や観光客向けの地場製品の販売の促進により、農業の持続可能性を高めることができます。アグリツーリズムは、観光体験の価値を高めると同時に、追加的な収入を生み出します。</p>		<p>現地グリーン購入（食料／農業）；現地供給とフェアトレード；受入側の地域社会の関与；野生生物と生態系の保護；オフセットの取り組み</p>
<p>目標3 – あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進する</p> <p>観光が生み出す税収は、医療や保健サービスに再投資することができ、母体の健康増進・乳児死亡率の減少・疾病予防等につながります。保護地域における入場料等の収益もまた、保健サービスに貢献することができます。</p>		<p>保健予防プログラム；買春旅行との闘い、健康および災害の認知と寄付；顧客の安全と健康－予防と施設</p>
<p>目標4 – すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する</p> <p>観光には包摂性を推進する潜在性があります。観光の繁栄には熟練した労働力が欠かせません。観光部門は、教育手段を通じて恩恵を受けるべき若者、女性、特別な助けを必要とする人々に、直接・間接的な雇用機会を提供します。</p>		<p>プロフェッショナル開発と研修；教育のためのパートナーシップ；多様性の管理；文化と遺産の教育；教育のための寄付；現行のスタッフ研修、情報、施設；受入側の地域社会の関与</p>
<p>目標5 – ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る</p> <p>観光は、特に中小の観光ホスピタリティ事業からの直接雇用と収入により、女性に力を与えることができます。観光は、女性が社会のあらゆる側面で能力を十分に発揮し、先頭に立っていくためのツールとなり得ます。</p>		<p>多様性の管理；買春旅行との闘いと人権のための啓発キャンペーンおよび寄付；スタッフの採用と研修において公平に取り組む。</p>

目標6 – すべての人々に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する

ライフライン整備のための観光への投資は、全ての人々の水へのアクセス、安定供給、そして衛生設備と上下水道を達成する上で極めて重要です。観光における効率的な水の利用、汚染防止、技術効率、私たちの最も大切な資源を守るためのカギとなります。

6 安全な水と
トイレをみんなに



新たな設備と技術；安全と健康のための予防プログラム；規格と認証；地域社会の関与

目標7 – すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する

観光は大量のエネルギーを必要とする分野として、全世界のエネルギー利用における再生可能エネルギーへの移行を加速することができます。観光は、クリーンエネルギー源への投資を促進することにより、温室効果ガスの排出削減、気候変動の緩和に資するとともに、すべての人がエネルギーを利用できるように貢献することができます。

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



新たな設備と技術；安全と健康のための予防プログラム；規格と認証；地域社会の関与

目標8 – すべての人々のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用及びディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）を推進する

観光は、サービス貿易として世界の4大輸出収入源の一つに数えられ、現在では世界の雇用の10分の1を創出しています。観光における（特に若者や女性への）働きがいのある雇用機会と、観光のバリューチェーン全体における多様性を尊重する政策は、観光がもたらすプラスの社会経済的影響を高めることができます。

8 働きがいも
経済成長も



プロフェッショナル開発のための研修；多様性の管理と現地採用；実績とインセンティブ—補完的利益；責任ある投資と現地購入；地域社会の関与

目標9 – レジリエント（強靱）なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、イノベーションの拡大を図る

観光振興は、官民による優れたインフラに依存します。観光部門は、インフラの強化や改修に関する公共政策に影響力を持ち、より持続可能で革新的、かつ資源効率が高く低炭素な成長へと移行させることで、観光客その他の海外投資を引きつけることができます。

9 産業と技術革新
の基盤をつくろう



エコデザイン；エネルギーと水資源における新たな設備と技術；再生可能エネルギー；リサイクルとゴミのための設備と素材；現行のスタッフ研修

公共政策

企業と CSR 活動

目標 10 – 国内および国家間の不平等を是正する

観光は、その開発に係る住人や全ての主要な利害関係者を巻き込むことができれば、不平等是正の強力な手段となりえます。観光は人々に生まれ育った場所で成功する機会を与えることで、都市の再開発や地域振興に貢献することができます。観光は経済的な統合と多様化の効果的な手段です。

10 人や国の不平等をなくそう



多様性の管理；現地企業への投資；責任ある購入；スタッフの雇用と研修における無差別の価値観；地域社会の関与

目標 11 – 都市と人間の居住地を包摂的、安全、レジリエント（強靱）かつ持続可能にする

観光は都市のインフラ整備とバリアフリー化を促進し、再生を推進し、観光が依存する文化・自然遺産、資源を保全することができます。環境にやさしいインフラ（より効率的な交通機関、大気汚染の削減）への投資は、住民だけでなく観光客のためにもなる、より効率的で環境にやさしい都市へとつながります。

11 住み続けられるまちづくりを



認証；パートナーシップ；啓発キャンペーン、文化・遺産地のための寄付；受入側の地域社会の関与；クリーンエネルギー；資源効率；生物多様性保全の取組

目標 12 – 持続可能な消費生産形態を確保する

観光部門は、持続可能性への移行を加速する「持続可能な消費と生産（SCP）」を採択する必要があります。エネルギー、水、ゴミ、生物多様性、雇用創出を含む持続可能な開発の環境に対する効果を測定するツールは、経済、社会、環境の改善につながります。

12 つくる責任
つかう責任



エネルギーと水のための効率化技術；再生可能エネルギー；リサイクル・ゴミ処理；汚染削減；現地購入・現地企業；現地サプライヤー；地域社会の関与；責任ある投資；ゲストの関与

目標 13 – 気候変動およびその影響を軽減するための緊急対策を講じる

観光は気候変動に影響を及ぼすと同時に、その影響も受けます。観光の利害関係者は、気候変動に対する世界的な対応の中で主導的な役割を担うべきです。運輸および宿泊部門における自らのカーボンフットプリントを削減することにより、観光は低炭素な成長の恩恵を受け、現代の最も喫緊の課題の一つへの対処に貢献できます。

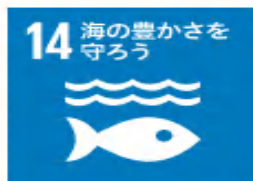
13 気候変動に具体的な対策を



エコデザイン；新たな設備と技術；再生可能エネルギー；リサイクルとゴミ；野生生物と生態系・景観の保護；汚染削減；オフセットの取組；災害啓発キャンペーンと寄付

目標 14 – 持続可能な開発のために、海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する

海岸と海洋での観光は、健全な海洋生態系に依存しています。観光開発は、破壊されやすい海洋生態系を保全・保護し、ブルー・エコノミー（環境を損なわない海洋経済）を促進する手段となるように、統合的沿岸域管理の一部となり、海洋資源の持続可能な利用に貢献しなければなりません。



野生生物と生態系、生物の保護；汚染削減；ゴミ処理；オフセットの取組；環境にやさしい購入；顧客とスタッフへの情報；地域社会の関与

目標 15 – 陸域生態系の保護、回復及び持続可能な利用の推進並びに生物多様性損失の阻止を図る

豊かな生物多様性、そして、自然遺産はしばしば観光客が目的地を訪れる大きな理由となります。観光は壊れやすい場所の持続可能性が、生物多様性の保全・保護だけでなく、地域社会の代替的な生計手段の創出においても管理されれば、重要な役割を担うことができます。



野生生物と生態系、生物の保護；汚染削減；ゴミ処理；オフセットの取組；環境にやさしい購入；顧客とスタッフへの情報；地域社会の関与

目標 16 – 持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人に司法へのアクセスを提供するとともに、包摂的な制度を構築する

観光は多様な文化的背景を持つ人々の間で何十億もの出会いを生み出すものであり、文化や信仰を超えた寛容と理解を生み、より平和的な社会の基礎を作ることができます。地域社会が関わり、恩恵を受けるものである観光はまた、紛争終結後の社会において平和を確固たるものにすることができます。



人権意識；寄付；現地企業一責任ある投資；現地での採用と購入；多様で尊重する政策；汚職、マネーロンダリングの防止；クライアントとの関係；受入側の地域社会の関与

目標 17 – 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

観光は、その分野横断的な特性により、SDGsなどの共通ゴールの達成を目指して協働するための官民連携や多様な利害関係者の連携（国際、国内、地方、地域）を強化する力があります。公共政策と革新的な資金調達は、2030年アジェンダを達成するための中核を担っています。



プロフェッショナル開発；教育のためのパートナーシップ；野生生物と生態系、生物の保護；オフセット行動；サプライヤーと顧客の関与；クライアントとの関係；スタッフの関与と関係；地域社会の関与

END